

国立特別支援教育総合研究所・配付資料一覧

国立特別支援教育総合研究所は、神奈川県横須賀市にある、特別支援教育に関する我が国唯一のナショナルセンターです。

特別支援教育に関する研究、研修、情報発信等を行っており、その研究成果や授業づくり等の教育活動への活用方法、研修コンテンツ等について資料を配付いたします。これら資料以外にも研究所のホームページにて研究成果物等を公表しておりますのでぜひご覧ください。

<国立特別支援教育総合研究所ホームページ>

<https://www.nise.go.jp/nc/>

<配付資料一覧>

- 資料 1 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 NISE 案内パンフレット
- 資料 2 とくそうけんのおはなし
- 資料 3 発達障害ナビポータルチラシ
- 資料 4 とくそうけんキッズルームチラシ
- 資料 5 特別支援教育リーフシリーズ
- 資料 6 発達障害教育推進センター事業紹介
- 資料 7 NISE 学びラボチラシ（一般登録用）
- 資料 8 国立特別支援教育総合研究所・放送大学開設科目のご案内
- 資料 9 NISE メールマガジン等のご案内
- 資料 10 令和 6 年度研究所公開のご案内チラシ
- 資料 11 子どもとともに
- 資料 12 インクルーシブ教育システム構築支援データベース「インクル DB」
「合理的配慮」実践事例データベースのご案内
- 資料 13 「先生の困った！」を解決するために（研究成果物リスト）
- 資料 14 令和 6 年度国立特別支援教育総合研究所セミナーご案内チラシ
（一次案内）

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

NISE

National Institute of Special Needs Education

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(NISE)は、
我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、
障害のある子どもと障害のない子どもが
共に学ぶことを目指したインクルーシブ教育システムの構築に向けて、
特別支援教育に関する研究活動や
研修事業、情報普及活動等を推進していきます。



理事長あいさつ

今年度は、第5期中期目標期間の4年目に当たります。第5期を振り返るとともに、第6期に向けて、その構想を練ることになります。研究活動では、重点課題研究や障害種別特定研究等を通じて、特別支援教育の直面する課題の解決に取り組みます。また、研修事業では、来所型とオンライン型の両方を取り入れた研修を実施しつつ、最適な研修の在り方を検討してまいります。これらの成果については、研究所セミナーやSNSなどを通じて、関係者への普及を図ります。今年度も、関係の皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和6年4月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (NISE) 理事長 中村 信一

沿革

- 昭和46年10月 国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置
- 平成13年 4月 独立行政法人化 (主務大臣：文部科学大臣)
- 平成19年 4月 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更
- 平成20年 4月 発達障害教育情報センター設置
- 平成28年 4月 インクルーシブ教育システム推進センター設置
- 平成29年 4月 発達障害教育推進センター設置 (発達障害教育情報センターの機能拡充)
- 令和 3年 4月～令和8年3月
第5期中期目標期間 (令和6年度は第5期中期目標期間の4年目)
- 令和 3年10月 創立50周年

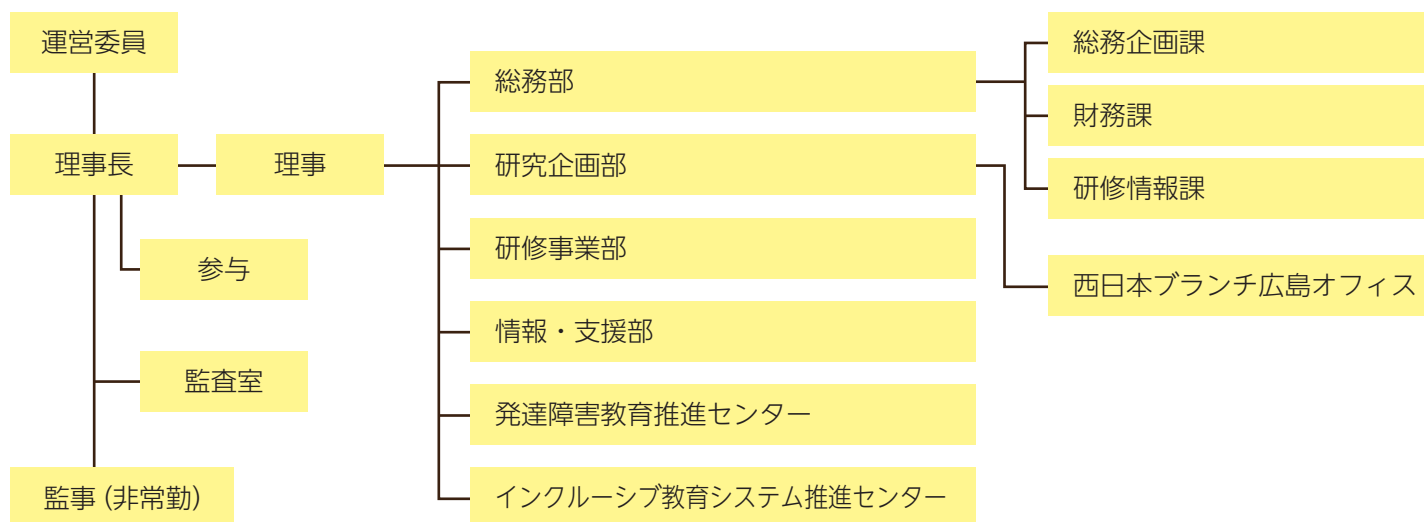
役員・職員数

合計	76 (3)	
役員	2 (2)	
研究職	38 (1)	
一般職	36	R6.4.1現在 ()内は非常勤で外数

令和6年度の財政規模

区分	金額 (千円)
運営費交付金	1,101,075
施設整備費補助金	74,737

組織



特別支援教育とは

- ・障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。
- ・従来の特殊教育が対象としていた障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものです。
- ・障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる「共生社会」の形成の基礎となるものです。

(詳しくは、「特別支援教育の推進について」(平成19年4月1日付け文部科学省初等中等教育局長通知)をご覧ください。)

インクルーシブ教育システムとは

- ・障害者の権利に関する条約第24条によれば、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのことで。
- ・「共生社会」の形成に向けて、上記の条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため、特別支援教育を着実に進めていく必要があります。
- ・インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要です。通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要です。

(詳しくは、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」(平成24年7月23日中央教育審議会初等中等教育分科会報告)をご覧ください。)

研究所の活動(第5期中期目標より)

ミッション(使命)

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション(使命)とする。

ミッションを達成するための取組

- ・特別支援教育に係る実際の・総合的研究の推進による国の政策立案・施策推進等への寄与及び教育現場への貢献
- ・各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成
- ・特別支援教育に関する情報普及の充実や自治体・学校への支援

研究活動

国の政策課題や教育現場の課題に対応した研究の推進

文部科学省との緊密な連携の下、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場の喫緊の課題解決に寄与する研究として、障害種の枠を超えて組織的に進める「重点課題研究」と、各障害種における喫緊の課題解決に寄与する「障害種別特定研究」を合わせて毎年5～7課題、実施します。

また、障害種別に研究班(9班)を組織し、重点課題研究や障害種別特定研究を支える研究所の基盤的な活動を行ったり、社会的背景等から必要なテーマ別研究班(4班)を設置し、関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行ったりし、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かしていきます。

●重点課題研究

(令和6年度に実施する研究課題)

- (1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)
 - ・特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究
- (2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)
 - ・多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究
 - ・共生社会の担い手を育む教育に関する研究－障害理解教育の検討を中心に－
 - ・障害のある生徒のキャリア教育の充実に関する研究

●障害種別特定研究

(令和6年度に実施する研究課題)

- ・肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究

●先端的・先導的研究

(令和6年度に実施する研究課題)

- ・知的障害のある児童生徒に対する系統的なプログラミング教育推進のための先導的研究

●その他の研究

○基礎的研究活動

テーマ別研究班及び障害種別専門分野の課題に対応する研究班における基盤的な研究

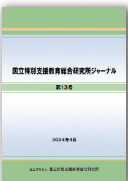



○外部資金研究、受託研究

科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究、外部からの委託を受けて行う研究

研究成果

研究の成果は、「研究成果報告書」やその要旨をまとめた「研究成果報告書サマリー集」等として特総研Webサイトにおいて公開しています。また、ガイドブックの作成、セミナーの開催等により教育現場等への普及を図っています。

最新の刊行物・研究成果物等(一部)

	国立特別支援教育総合研究所ジャーナル 第13号 令和6年4月	
	国立特別支援教育総合研究所研究紀要 第51巻 令和6年3月	
定期刊行物	研究成果報告書サマリー集(令和4年度終了課題) 令和5年7月	
	知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究 令和5年3月	
研究成果報告書	通常の学級における多様な教育的ニーズのある子供の教科指導上の配慮に関する研究 令和5年3月	
	障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究 令和5年3月	
	ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究 令和5年3月	
	学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究 令和5年3月	
書籍	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導－確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－(株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-575-2 令和3年3月	
	特別支援教育の基礎・基本 2020 (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-548-6 令和2年6月	
	教科指導上の個に応じた配慮の観点 －通常の学級における多様な教育的ニーズのある子供の学びを支援します－ 令和6年3月	
リーフレット・ガイドブック・事例集等	肢体不自由特別支援学級の指導ガイドブック 令和4年3月	
	知的障害特別支援学級の授業づくり『すけっと』がお助けします！ 令和3年7月	
	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育Q&A 令和3年7月	
	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック －知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心に－ 令和3年3月	

▶▶ 詳しくはこちら：https://www.nise.go.jp/nc/report_material/guide02



研修事業

各都道府県等において指導的役割を果たす教職員を対象とした研修の実施

各都道府県等における特別支援教育の指導的な役割を果たす教職員を対象とし、特別支援教育専門研修（発達障害・情緒障害・言語障害教育コース、知的障害教育コース、視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース：約2か月、計210名、オンラインと来所の組合せ）や、インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会（ICT活用、高校通級：各2日、オンラインと来所の組合せ、交流及び共同学習：1日、オンライン、計220名）及び発達障害教育実践セミナー（1日、70名程度、オンライン）を実施し、指導者の養成を図っています。この他、全国特別支援学校長会との連携研修（特別支援学校寄宿舎指導実践協議会：1日、50名程度、対面・オンライン併用）を実施しています。



特別支援教育専門研修



指導者研究協議会

インターネットによる講義配信「NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～」

障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教員の資質向上の取組を支援するため、特別支援教育に関する講義を収録し、インターネットにより、学校教育関係者等へ配信しています。個人登録を行うことによって、およそ170の講義がパソコンやタブレット端末、スマートフォン等で、誰でも無料で視聴できます。目的に応じて系統的に学べるように、例えば、「特別支援学級（知的障害）の担任になったら」のような「研修プログラム」を提案しています。また、団体登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて、いくつかの講義を組み合わせるなど、オリジナルの研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。



講義配信の視聴画面

▶▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online



免許法認定通信教育総合情報サイト

免許法認定通信教育の実施

特別支援学校教諭免許状取得率の向上のため、特に保有率の低い視覚障害者教育領域及び聴覚障害者教育領域の講義について、インターネットを利用した「免許法認定通信教育」を実施しています。

▶▶▶ 詳しくはこちら：

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>



情報普及活動

Webによる情報発信

特総研Webサイトや「特総研ジャーナル」、メールマガジンの発行等を通じて研究成果や特別支援教育全般に関する情報を総合的に提供しています。また、障害の状態や特性等に応じた教材、支援機器や実践事例等の情報を発信する「特別支援教育教材ポータルサイト(支援教材ポータル)」や発達障害教育に関する理解啓発を推進するとともに、発達障害のある子供の教育に関する基本的な知識と指導・支援に関する情報を発信する「発達障害教育推進センター Webサイト」を運用しています。

さらに、発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報を中心に、その方々の暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の各分野の情報を発信する国のサイト「発達障害ナビポータル」を運用しています。これは、厚生労働省と文部科学省協力の下、国立障害者リハビリテーションセンター(発達障害情報・支援センター)と特総研(発達障害教育推進センター)の両センターが共同で運用するポータルサイトです。

- ▶▶▶ 特別支援教育教材ポータルサイト：<http://kyozai.nise.go.jp/>
- ▶▶▶ 発達障害教育推進センター Webサイト：<http://cpedd.nise.go.jp/>
- ▶▶▶ 発達障害ナビポータル：<https://hattatsu.go.jp/>



支援教材ポータル



発達障害教育推進センター Webサイト



発達障害ナビポータル

発達障害教育に関する理解啓発と実践的な指導力向上のための情報提供

発達障害教育に関する研究成果の普及や自治体における研修の支援等を通じて、自治体との連携や教育現場の実践的な指導力の向上を図るため、都道府県教育委員会等の研修担当者を対象とする「発達障害教育実践セミナー」を毎年度開催しています。

シンポジウム・セミナーの開催

研究成果の普及促進や教育現場等との特別支援教育に関する情報共有を図るため、「研究所セミナー」を毎年度開催しています。また、世界自閉症啓発デーに関連したイベントを、関係団体と共に毎年度開催しています。さらに、特総研の活動をより身近なものとしていただくため、「研究所公開」を開催しています。

加えて、全国を6つの地区ブロックに分け、ブロック内の特別支援教育の理解啓発を図るために、「特別支援教育推進セミナー」を年間3回開催しています。各関係団体等と連携しながら、特別支援教育等に関する有益な情報を提供するとともに、ブロック内の交流促進や関係構築を図っています。



研究所セミナー(開会式)

特別支援教育リーフシリーズ

小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生等に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載した「特別支援教育リーフ」を作成し、発行しています。

インクルーシブ教育システム推進のための 地域支援事業・国際・インクルDB

地域支援事業

令和3年度から、教育委員会と特総研が連携して地域のインクルーシブ教育システム構築を推進する「地域支援事業」を実施しています。

令和6年度は、全国から15の自治体に参画いただいています。各自治体は、インクルーシブ教育システムの理解啓発の取組、地域の支援体制の構築、校内研修の推進など、それぞれの課題に応じた事業に取り組んでおり、特総研は各自治体の事業を支援しています。事業の成果は、各自治体において報告会等を実施して普及する他、「地域支援事業報告書」を特総研Webサイトに掲載するなどして普及します。



地域支援事業推進プログラムの様子
(令和5年8月、ハイブリッドで開催)

▶▶ 詳しくはこちら



国際動向の把握や海外との研究交流

諸外国のインクルーシブ教育システム構築に関する最新動向や取組を計画的に収集し、国内との比較・検討など参考になる情報を特総研Webサイト等で公表しています。

韓国国立特殊教育院と、毎年、「日韓特別支援教育協議会」を開催する等、海外の特別支援教育の研究機関との交流を図っています。

また、JICA (国際協力機構) の研修など、海外からの視察・研修を受け入れ、我が国の教育制度等についての情報提供を行っています。

▶▶ 詳しくはこちら



JICA研修の様子
(令和5年9月、研修終了後、屋上で)



インクルDBのWebサイト

インクルDB (インクルーシブ教育システム構築を 支援するデータベース) の運用

インクルDBでは、子供の実態に応じ、有効と思われる合理的配慮や基礎的環境整備について紹介しています。令和5年度には、「インクルDBを活用した研修例」を追加したり、「医療的ケア児の保育・幼児教育に関する実践事例集」を新たに掲載したりするなど、コンテンツの充実を図っています。

【主な内容】

○「合理的配慮」実践データベース

・実践事例データベース

(令和6年3月末現在、590事例掲載)

・インクルDBを活用した研修例

・交流及び共同学習実践事例集

・医療的ケア児の保育・幼児教育に関する実践事例集

○関連情報

・法令・通知・用語等

・Q & A

▶▶ インクルDBのWebサイトはこちら



体育施設のご利用案内

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

<ご利用可能時間>

体育館：9時～19時

フットサルコート：9時～17時

土曜・日曜・祝日も

ご利用いただけます。



▶▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/physical_education



寄附のお願い

特総研の業務は、主として国からの運営費交付金等によって活動しておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附を受け入れています。

▶▶▶ 詳しくはこちら：<https://www.nise.go.jp/nc/fund>



交通案内

京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

▶ [久3]系統・久里浜医療センター行で約15分、

国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

▶ [久8]系統・野比海岸行で約20分、終点下車300m

▶ タクシー約10分

YRP野比駅下車

▶ 徒歩20分

▶ タクシー約7分

JR横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

▶ [久8]系統・野比海岸行で約15分、終点下車300m

▶ タクシー約10分



 独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL：046-839-6803 FAX：046-839-6918 (総務部総務企画課)

URL <https://www.nise.go.jp/nc/>



このパンフレットで紹介した研究成果報告書、特総研ジャーナル、NISE 学びラボ、メールマガジン、発達障害教育推進センター Web サイト、発達障害教育ナビポータル、研究所公開、研究所セミナー、インクル DB などの詳しい内容は、**NISE** でまとめて検索できます！

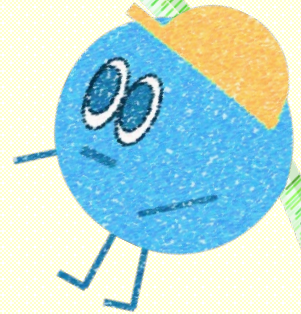


再生紙を使用しています

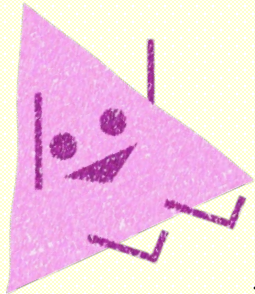
令和6年4月

とくそうけんのおはなし

す きら
好きなこと 嫌いなこと
とくい にがて
得意なこと 苦手なこと
そだ かんきょう ぶんか
育った環境や文化



まった おな ひと
あなたと全く同じ人はいませんね。

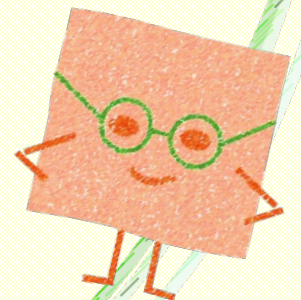


しゃかい
社会には、
ひと いっしょ く
いろいろな人たちが一緒に暮らしています。

ちが わたし
みんな違う私たちが、
たが し たいせつ おも あ
お互いのことを知って、大切に思い合うことで、
だれ あんしん せいかつ しゃかい
誰もが安心して生活できる社会につながります。

がっこう せいかつ まな おな
これは、学校での生活や学びについても同じです。

しょうがい こ こ
障害のある子もない子も
おも き ちから はっき
思い切り力を発揮できるように、



とくそうけんは
まな おうえん
ひとりひとりの学びを応援しています。

とくそうけんは、

しょうがい しえん ひつよう きょういく かん くに けんきゅうじよ
障害など支援が必要なこどもの教育に関する国の研究所です。

たよう ひと
多様な人たちが
とも まな あ
共に学び合える
かんきょう
環境がある

だれ ちから だ
誰もが力を出せる
ここ よ そ
個々に寄り添った
しえん
支援がある



まな じつげん さまざま かつどう おこな
このような学びを実現するために、様々な活動を行っています。

けんきゅう 研究

まな かんきょう
みんなが学びやすい環境
しえん くふう
づくりや支援の工夫を、
きょういくいいんかい がっこう
教育委員会や学校などと
いっしょ けんきゅう
一緒に研究しています。

けんしゅう 研修

しえん ひつよう
こどもの支援に必要な
ちしき じゅぎょう
知識や授業のヒントを
え がっこう
得られるよう、学校の
せんせい しえん
先生を支援しています。

じょうほうはっしん 情報発信

ひつよう しえん
必要とする支援にたど
り着けるように、友達
のことをもっと理解で
きるように、みんなに
じょうほう とど
情報を届けています。

ちいきしえん こくさいじょうほう 地域支援・国際情報

じちたい とりくみ しえん
自治体の取組を支援し
ています。
かいがい とりくみ こくない
海外の取組を国内に
しょうかい
紹介しています。





発達障害ナビポータル

<https://hattatsu.go.jp/>



発達障害ナビポータルは、国が提供する発達障害に特化したポータルサイトとして、令和3年に開設しました（令和5年4月リニューアル）。発達障害のあるご本人・ご家族や関係者、全国の支援機関の皆さまに幅広くご活用いただけるよう、信頼のおける情報の提供を行っています。

ご本人・ご家族に向けた情報と、発達障害児者支援に関わる支援機関の方々に向けた情報を掲載しています。

本サイトは、厚生労働省と文部科学省の協力のもと、国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）と国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）で共同運用しています。

● ご本人・ご家族向けのメニュー

各ライフステージの情報、ご家族に向けた支援、働くことや暮らしの支援等の情報を掲載しています。



● 支援機関の方向けのメニュー

発達障害児者支援に関わるすべての分野の支援者に向けて、知っておいてほしい基本的な情報について掲載しています（掲載分野：教育、医療・保健、福祉、労働）。



研修コンテンツ集（動画等）

現在、以下の研修コンテンツをご覧いただけます。

- 教育福祉連携のためのコンテンツです。教育関係者と福祉関係者が連携するにあたり共通に身につけてほしい専門性について14項目に整理した「研修カリキュラム」のダウンロードや「モデル研修動画」（57本）の視聴ができます。
- ペアレント・トレーニングに関する研修動画等が視聴できます。

ご本人・ご家族向けのメニューの内容

- 各ライフステージの情報
乳幼児期、学童期・思春期、青年期・成人期の各ライフステージの特徴や利用できる支援機関の情報等を掲載しています。
- 保護者・家族に向けた支援
ご家族が参加できるプログラムや保護者・家族同士のつながりに関する情報等を掲載しています。
- 働くこと・暮らしの支援
働くことに関する支援機関、暮らしに関する相談先等の情報を掲載しています。
- 情報検索ツール「ココみて(KOKOMITE)」
ご本人・ご家族の方が必要な情報を検索するためのサイトです。詳しくは裏面をご覧ください。

ご本人・ご家族／支援機関の方向け 共通メニューの内容

- 特集記事
発達障害に関する外国人保護者向けパンフレット（21言語版）がダウンロードできます。その他、女性の発達障害や、災害時の発達障害児・者支援についての情報等を掲載しています。
- トピックス
最新の研究情報をわかりやすくお伝えするコンテンツです。
- お知らせ／イベント
新しく追加された情報や研修、学会等の開催情報を掲載しています。

支援機関の方向けのメニューの内容

- 各分野の情報
教育、医療・保健、福祉、労働の各分野についての基本的な情報を掲載しています。
- 研修コンテンツ集
発達障害支援に関する基本的な事柄を中心とした、研修コンテンツです。地域での研修会や事業所内での勉強会、個人学習等にご活用ください。
- 自治体取組情報検索
全国の自治体等が作成する発達障害児者支援に関する取組や成果物、関連情報等を検索することができます。詳しくは裏面をご覧ください。

公式SNS

Twitter
@DDNP2021



Facebook

@Hattatsu.Navi.Portal.Site/



公式LINEアカウント

発達障害ナビポータル





発達障害に関する情報検索ツール

「ココみて(KOKOMITE)」／自治体情報取組検索



情報検索ツール
ココみて
(KOKOMITE)

【ご本人・ご家族向け】

情報検索ツール「ココみて(KOKOMITE)」



発達障害のある方やご家族向けの情報発信の一環として、情報検索ツール「ココみて(KOKOMITE)」を開発しました（令和5年4月）。ご本人やご家族ができるだけわかりやすく必要な情報にたどりつき、適切な支援につながれるようにというコンセプトのもとに作成されたものです。

- ・「[知りたいことでさがす](#)」「[都道府県でさがす](#)」「[年齢でさがす](#)」を組み合わせて検索できます。
- ・公的機関等が発信している既存情報を中心に、信頼のおける情報を収集・掲載しています。掲載情報は今後も充実させていく予定です。

【知りたいことでさがす】の各項目

- 相談したい、相談先を知りたい
- 病院をさがしたい
- 当事者会・親の会（仲間とつながりたい）
- 家族向けのサポートを知りたい
- 発達障害について知りたい
- サポートファイル（自分/子どものことを伝えたい）
- 合理的配慮
- 災害など大変なことが起こったら
- イベント等の情報がほしい
- ご本人・ご家族向け資料

このページで調べられること

▼それぞれの項目をクリックすると詳しい説明を読むことができます

相談したい、相談先を知りたい	病院をさがしたい	当事者会・親の会（仲間とつながりたい）	家族向けのサポートを知りたい
発達障害について知りたい	サポートファイル（自分/子どものことを伝えたい）	合理的配慮	災害など大変なことが起こったら
イベント等の情報がほしい	ご本人・ご家族向け資料		

クリックすると、各項目の詳しい内容が開きます

知りたいことでさがす 都道府県でさがす 年齢でさがす の3つを組み合わせてさがすことができます

知りたいことでさがす 都道府県でさがす 年齢でさがす

さがす

▲「ココみて(KOKOMITE)」の情報検索画面

愛称「ココみて(KOKOMITE)」について

情報検索ツールの愛称は、Webアンケートで募集しました。多数の応募をいただき選考の結果「ココみて(KOKOMITE)」に決定しました。<考案者より>「ここにアクセスすることで必要な情報に出逢えるかもしれないという意味を込めました。様々な文字（ひらがな・カタカナ・ローマ字）を使うことによって発達障害の多様性を表しました。子どもたちが周囲の人に『ここ見て!』と活き活きと伝えるイメージから、このツールを活用する方も周囲の様々な人とのコミュニケーションが広がるとうい思いをこめました」



自治体取組
情報検索

【行政・支援機関の方向け】

自治体取組情報検索



各自治体における取組情報や既存の成果物を収集・整理することで、自治体間での情報の共有しやすくし、有用な情報をひろく発信できるようにすること等を目的に開設しました（令和4年4月）。

【カテゴリーでさがす】の各項目

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| ● 相談窓口・支援機関リスト | ● 教育支援計画 |
| ● 医療機関リスト | ● サポートファイル |
| ● 発達障害者支援センター | ● 合理的配慮 |
| ● 当事者会・親の会 | ● 防災・災害 |
| ● 保護者家族向け支援（ペアトレ・ペアプロ・メンター含む） | ● 自閉症啓発デー関連 |
| ● 啓発パンフレット・リーフレット | ● 障害福祉計画 |
| ● 研修会・イベント情報 | ● 当事者・家族・一般向け資料 |
| ● 支援者向け資料 | ● 子どものこころ |
| ● 教育センター・特別支援教育課 | ● 関連会議資料（発達障害支援地域協議会、自立支援協議会等） |
| ● 特別支援教育 | ● その他 |

発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース

「自治体取組情報検索」(発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース)は、発達障害児者支援に関する全国の自治体等のさまざまな取組や成果物、関連情報等を集約・整理し、必要な情報にアクセスしやすくするものです。都道府県・政令指定都市の行政・発達障害者支援センターの情報を中心に、1000件を超える数の情報を掲載しています。ぜひご活用ください。本取組の詳細については「[自治体取組情報検索実施協会の取組について](#)」をご覧ください。

「自治体取組情報検索」の使い方
すべての情報には、内容の種類を示すカテゴリー(※)と情報発行元の「地域」(エリア、都道府県および指定都市)、情報の主な対象者を示す「ライフステージ(※)」を割りつけています。

カテゴリーでさがす 地域でさがす ライフステージでさがす

検索する

▲「自治体取組情報検索」の情報検索画面

お問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部
発達障害情報・支援センター
Mail: hattatu-isc@rehab.go.jp

<自治体情報 募集中！>

行政等の皆さまより、発達障害児者支援に関する地方自治体の取組や関連情報、成果物等を募集しています。情報登録フォームよりご連絡ください。

とくそうけんキッズルーム



～みんな友達！ 知ろう 学ぼう 考えよう～



身近な友達を知ること、身近にある物の意味を知ること、みんなの世界が広がります。まずは、少しずつ友達のことを知ることから始めてみよう。

特別支援教育リーフ シリーズ

初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生へ
特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ



まずはここから



こんな子いませんか？



こんな取組、
してみませんか？

特別支援教育リーフは、小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載しています。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所（NISE）

情報・支援部

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5丁目1番1号
電話：046-839-6803（代表）

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series

リーフシリーズ



2022.9



各シリーズのコンセプト



まずはここから

対象：主に特別支援学級の担任（号によっては通常の学級の担任や通級による指導の担当）

ねらい：特別支援教育の経験の浅い教員が、特別支援教育を構成する基本的な事柄を理解する契機とする。



こんな子いませんか？

対象：主に通常の学級の担任

ねらい：通常の学級に在籍する児童生徒に見られる、障害に起因することが気付かれにくい（教師が気づきにくい）状態について理解し、その改善のための具体的な支援を考えていく一助とする。



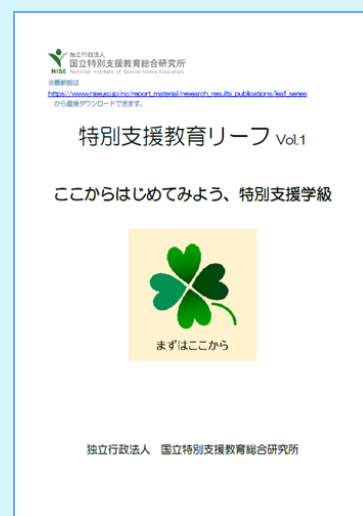
こんな取組、
してみませんか？

対象：通常の学級の担任や特別支援学級の担任(号によって異なる)

ねらい：学習上・生活上の困難さがある児童生徒が、より充実した学校生活を送ることができるよう、実際の授業や指導・支援で活用できる取組や知っておくと良い情報を紹介、提案する。


特別支援教育リーフは、それぞれの号のねらいや主な内容によって、次のようなシリーズ構成で順次刊行します。

- ①「まずはここから」シリーズ
- ②「こんな子いませんか？」シリーズ
- ③「こんな取組、してみませんか？」シリーズ



A3サイズ 見開き4頁の構成

1ページ	表紙
2ページ上部	要旨とポイント
2ページ下部 ～3ページ	この号で取り扱うテーマについて、まず知ってほしいことや気づいてほしいことの説明
4ページ	より深く理解するために役立つ情報

 2～3ページは、10～15分程度で読むことができます。
このページだけでも是非、お読み下さい。

ダウンロードはこちらから→

リーフシリーズ



発達障害教育推進センター

発達障害に関する最新情報や国の動向について、Webサイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等と連携した人材育成の取組を通じて、発達障害に関する実践的な指導力の向上を図っています。

Webサイトによる情報提供

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター

アクセシビリティバネルを表示する
最新のアクセシビリティバネルが表示されます。

ホームページ 発達障害の理解 指導・支援 研修構築動画 発達障害Q&A 当研究所の研究 国の動向や法令 イベント情報

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター

発達障害教育推進センターでは、発達障害に関する最新情報や国の動向等について、インターネットを通じて幅広く国民に提供するとともに、教育実践セミナーや地域理解啓発事業等を展開し、発達障害教育に関する理解推進と実践的な指導力の向上を図ります。

世界自閉症啓発デー ONLINE 2021 - 誰か一人、知らず人の動画配信がスタートしました。

毎年4月2日は国連で定められた「世界自閉症啓発デー」です。今年度もコロナ感染拡大防止に配慮し、ONLINEで開催します。

コンテンツは「実地で働く・実地で関わる」ジュニアとエリムのストーリータイム。」

「二次的な障害」のリーフレットを作成しました

発達・領域別では、令和元年度から2年度の基幹研究として、「社会とのつながりを豊にした発達障害者への専門性のある支援に関する研究-発達障害者の特性及び発達障害を踏まえた適切な支援の提供の方向性を明らかにする」という取組を進めています。この際、研究内容をまとめたリーフレットが完成しましたのでご紹介します。

【終了報告】令和2年度「発達障害教育実践セミナー」

令和3年1月28日（木）9:30～12:00 に令和2年度「発達障害教育実践セミナー」をZoomウェビナー（YouTube同時配信）によるオンライン形式で開催しました。皆様のおかげで無事にセミナーを終了することができました。

セミナーには96機関からの申し込みがあり、当日は最大119名のアクセスがありました。多くの方々に

教育関係者の方 障害者・ご家族・一般利用の方 福祉関係者・支援者の方

教育関係者の方
学習行動課社会課など、教育関係者の方への情報をまとめています

<http://cpedd.nise.go.jp>



他機関と連携した取り組み

世界自閉症啓発デー関連イベント

毎年4月2日は国連で定められた世界自閉症啓発デーです。厚生労働省及び日本自閉症協会が主催する世界自閉症啓発デーに関するイベントを共催団体として毎年開催しています。

世界自閉症啓発デー
日本実行委員会公式サイト

毎年4月2日は、国連の定めた世界自閉症啓発デー

毎年4/2～4/8は、発達障害啓発週間

<http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>



発達障害ナビポータル

文部科学省、厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと連携し、各ライフステージにおいて切れ目ない支援が行われるよう、国の情報ポータルサイトとして、教育、福祉、保健、医療、労働等の分野の情報発信を行っています。



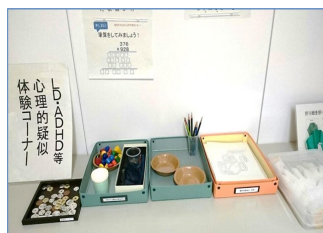
キーワードを入力 検索

<https://hattatsu.go.jp/>



発達障害に関する展示室

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示、教材・教具や支援ツール、参考図書等の紹介を行っています。発達障害の特性を体験的に学ぶコーナーもあります。



発達障害教育実践セミナー

発達障害に関する研究成果や最新情報の提供、教育委員会及び教育センター等における研修の支援等を内容とするセミナーを毎年開催し、各自治体との連携を促進するとともに、教育現場における実践的な指導力の向上を図っています。



これらの事業の実施にあたっては、文部科学省、厚生労働省、都道府県や市町村の教育委員会及び教育センター、国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター、発達障害者支援センター等とも連携しています。

NISE 講義配信は...

インターネットによる講義配信



NISE 学びラボ

～ 特別支援教育eラーニング ～



いつでもどこでも
特別支援教育に
ついて無料で学ぶ
ことができます

スマートフォンや
タブレット端末
にも対応

● 多様な利用環境で視聴することができます

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から、いつでも、どこでも無料で視聴できます。

● 教職員等の主体的な学びを支援します

約170の講義コンテンツや、複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムから、ご自身のニーズに応じた学習ができます。また、受講状況や視聴履歴も確認できます。

● 団体利用によりオリジナルの研修プログラムが設定できます

教育委員会等の機関が主催する研修等で、受講者のニーズに合わせて複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムが設定できます。修了者には視聴証明書を発行します。

URL : https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

NISE 学びラボ



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所



NISE 学びラボ の視聴方法

1. ログイン画面

付与されているIDとパスワードでログインします。

初めての方は、画面右「利用申請」から利用申請を行ってください。



団体利用の詳細は、ホームページの「団体利用（管理者向け）マニュアル」をご覧ください。

2. コンテンツの選択

コンテンツ一覧から視聴したい講義のコンテンツを選択します。



ログイン後のホーム画面です。

「コンテンツ一覧」のボタンを押します。

（コンテンツ一覧は個人利用の場合のみ利用可能です）

約170の講義コンテンツが、「分類」→「コース」→「コンテンツ」という階層で整理されています。それぞれの階層リストから興味のある内容を選び、視聴したいコンテンツを選択します。



分類



コース



コンテンツ

他にもこんな機能が...

- ☑ 「研修プログラム」では、受講者のニーズに応じて系統的に学べるコンテンツを提案しています。
- ☑ 「受講状況」では、受講者自身がこれまでに視聴したコンテンツを確認することができます。

NISE 学びラボ を、是非ご活用ください！



お問い合わせ先: NISE学びラボ担当 a-manabilabo@nise.go.jp

(令和4年3月作成)

NISE (国立特別支援教育総合研究所) と放送大学の 免許法認定通信教育を利用して 視覚・聴覚障害者教育領域の 特別支援学校教諭免許状を 取得しませんか。



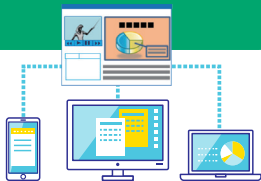
視覚障害者教育領域又は聴覚障害者教育領域の免許状を保有していない教員等(教員として3年以上の勤務経験がある等の条件を満たす必要があります)

特別支援学校教諭免許状取得の流れ(イメージ)

視覚障害者教育領域・聴覚障害者教育領域の第2欄に掲げる科目
「教育課程及び指導法」、「心理、生理及び病理」(各1単位)

その他修得すべき科目
(第1欄、第3欄)

NISE免許法認定
通信教育



インターネットを利用して
受講申込み
↓
パソコン・タブレット端末等で
15時間の映像講義を視聴
↓
単位認定試験(マークシート)
に合格

放送大学が開講している
免許法認定通信教育を受講



必要な単位を全て修得

免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数については、各都道府県・指定都市教育委員会の教員免許担当課にご確認ください。

各都道府県教育委員会へ「教育職員検定」の申請 (領域追加の場合は、所有する特別支援) 免許状を発行した教育委員会へ申請

視覚障害者教育領域・聴覚障害者教育領域の免許状を取得

国立特別支援教育総合研究所(NISE)では、免許状取得率が低い視覚障害者教育領域及び聴覚障害者教育領域について、教育職員免許法施行規則において第2欄に掲げる科目(各1単位)のインターネットによる免許法認定通信教育を開講し、特別支援教育に携わる教員の一種・二種免許状取得率向上を支援しています。

放送大学では、放送大学の開設科目(第1欄～第3欄)のみで知的障害者教育領域・肢体不自由者教育領域の2領域の免許状が取得可能ですが、あわせて国立特別支援教育総合研究所(NISE)で第2欄に掲げる科目の単位を修得すれば、視覚障害者教育領域・聴覚障害者教育領域含め、4領域の免許状の取得も可能です。



科目について



国立特別支援教育総合研究所の開講科目

国立特別支援教育総合研究所では以下の4科目を開講しています。

免許法令に定める科目区分		国立特別支援教育総合研究所における対応科目	中心となる領域	単位
第2欄 特別支援教育領域に関する科目	教育課程等に関する科目 (令和5年度前期)	視覚障害児の教育課程及び指導法	視覚障害者	1
		聴覚障害児の教育課程及び指導法	聴覚障害者	1
	心理等に関する科目 (令和5年度後期)	視覚障害児の心理、生理及び病理	視覚障害者	1
		聴覚障害児の心理、生理及び病理	聴覚障害者	1

【受講対象者】

普通免許状を持ち、特別支援学校教諭の免許状取得、若しくは視覚障害者教育領域または聴覚障害者教育領域の追加を目指す方。
(既に特別支援学校の普通免許状を持ち、新たに領域追加を目指す場合には、第2欄の科目のみ必要)

【受講申込方法】

下記ウェブサイトより受講募集要項をご覧ください。
受講料は無料です。
免許法認定通信教育総合情報サイト
(<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>)にてご案内します。

【受講方法】

パソコン・タブレット端末等で約15時間の映像講義を視聴し、理解度チェックテストを実施します。
スクーリング形式の授業は行いません。

【講習期間(令和5年度)】

前期:講習期間 令和5年5月8日(月)～8月18日(金)
単位認定試験※ 令和5年9月10日(日)
後期:講習期間 令和5年10月2日(月)～令和6年1月12日(金)
単位認定試験※ 令和6年2月4日(日)
※単位認定試験は、各都道府県に試験会場を設け、対面形式で実施します。

特別支援学校の普通免許状を保有していない方は、上記国立特別支援教育総合研究所の開講科目に下記放送大学の第1欄・第3欄の開講科目を組み合わせることで視覚・聴覚障害者教育領域の特別支援学校教諭免許状が取得できます。



〈放送大学への入学〉

10月入学の場合

出願期間:6月中旬～9月中旬



放送大学の開講科目

特別支援学校教諭一種・二種免許状(知的障害者教育領域、肢体不自由者教育領域*1)

下記4科目については、
全てインターネットでも配信しています。

免許法令に定める科目区分		放送大学における対応科目*2		中心となる領域	含む領域	単位	
		科目名	メディア				
第1欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育基礎論('20)	ラジオ	(特別支援教育全般にわたる基礎的な科目です)		2	
第2欄*3	特別支援教育領域に関する科目	心理等に関する科目*4	知的障害教育総論('20)	ラジオ	知的障害者	-	2
		教育課程等に関する科目*5					
		心理等に関する科目*4	肢体不自由児の教育('20)	テレビ	肢体不自由者	-	2
		教育課程等に関する科目*5					
第3欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	特別支援教育総論('19)	ラジオ	重複・LD等領域	視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者	2	

*1 一種免許状の取得に利用できるかについては、都道府県教育委員会によって異なります。必ず事前に都道府県教育委員会にご確認ください。

*2 対応科目については、必ず放送大学冊子「2023年度版 教員免許状及び各種資格について」をご確認ください。

*3 第2欄の必要単位数は、都道府県教育委員会によって異なります。放送大学の授業は1科目2単位ですので必要単位数に応じて科目を履修してください。

*4 心理等に関する科目…心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目

*5 教育課程等に関する科目…心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目

単位認定試験は
Webで受けられます!

● 入学科・授業料(令和5年度)

	区分	入学科	授業料	入学科の割引
教養学部	全科履修生	24,000円	1単位あたり 5,500円	学校等から20名以上の集団入学をした場合または、公立学校共済、国家公務員共済組合員、日本私立学校振興・共済事業団加入者専用募集要項より出願した場合は半額割引
	選科履修生	9,000円		
	科目履修生	7,000円		

NISE

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

NISE メールマガジン等のご案内

● N I S E (特総研) では…

最新の活動内容や特別支援教育に関する様々な情報を、様々なコンテンツによりお届けしています。

国立特別支援教育総合研究所メールマガジン

国立特別支援教育総合研究所メールマガジンの刊行について

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所では、情報発信機能をもより一層高めるため、研究所メールマガジンを配信しています。この研究所メールマガジンは、これまで研究所が行ってきたさまざまな情報発信の集約に加えて、研究所の活動や特別支援教育に関する情報をタイムリーにお届けします。

内容

- 研究所の研究成果の紹介
- 研修コースに関する情報（実施予定、受講者募集等）
- 研究所主催のセミナー等研究所主催のイベント情報（開催予定、参加費募集、結果報告等）
- 特別支援教育に関するトピックス
- 研究所からのお知らせ
- その他

● NISEメールマガジン

最新の活動内容や特別支援教育に関する様々な情報を、ご登録いただいている方に電子メールで毎月お届けするサービスです。

- ・イベントのご案内
- ・NISEトピックス
- ・特別支援教育関連情報
- 等々



● SNS

NISEの最新情報やコンテンツ等をお届けします。

- ・LINE
- ・X(旧Twitter)
- ・YouTube(NISEチャンネル)



LINE



X(旧 Twitter)



YouTube

(NISE チャンネル)

● 特総研ジャーナル

NISEの諸活動の成果である様々な”役立つ情報”を紹介する年刊の機関誌です。

(最新号)特総研ジャーナル第13号(令和6年4月発行)

- ・令和5年度研究課題一覧
- ・事業報告
- ・諸外国の動向調査報告
- 等々



● NISE Bulletin

NISEの諸活動を英文にてご紹介する年刊の機関誌です。

(最新号)NISE Bulletin Vol.23(令和6年8月発行)

- ・NISE's Activities



特総研 Web サイトから自由にご覧いただけます。
URL <https://www.nise.go.jp/nc/>

発見、 体験、 特総研！

国立特別支援教育総合研究所

研究所公開

2024年
11/9(土)

時間 10:00~15:30
(受付 9:40~15:00)

場所 国立特別支援教育総合研究所
(神奈川県横須賀市野比5-1-1)

参加費 無料 協力 株式会社伊藤園

後援 神奈川県教育委員会
横須賀市教育委員会

詳しくはこちら

https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release



- 京急久里浜駅から「久里浜医療センター」行バスで約15分
「国立特別支援教育総合研究所」下車
- 京急久里浜駅、JR久里浜駅から「野比海岸」行バスで約20分
終点「野比海岸」下車 徒歩約5分
- YRP野比駅から徒歩約20分
- 駐車場あり(なるべく公共交通機関をご利用ください)



ナイセ

NISEで広げよう
特別支援教育の

わ

環



研究所公開の主な催し

パラスポーツを楽しもう ～ボッチャ体験～



パラスポーツの『ボッチャ』を体験できます。障害の有無に関わらず、誰でも楽しむことができるスポーツです。お気軽にご参加ください。

*随時受付

午前の部
10:00～12:00

午後の部
13:00～15:30



一緒に考えよう 特別支援教育のこと

定員

特総研の研究職員による講話
(所要時間60分程度、各回定員50名)

*各開始時間の15分前から会場にて整理券配布予定
*手話通訳あり

午前の部 11:00～	幼児教育や保育を学ぶと共生社会実現の 手がかかりが見えてくる！ 講師：久保山 茂樹 上席総括研究員
午後の部 13:10～	小学校(通常の学級)の授業風景から 教室にある工夫を見つけよう！ 講師：井上 秀和 総括研究員

ICT機器の活用体験

定員

ICT機器を活用して、特別支援教育の現場での
使い方を紹介します。

(所要時間30分程度、各回定員15名)

*各開始時間の15分前から会場にて整理券配布予定

*手話通訳あり

スケジュール	1回目 10:10～
	2回目 12:20～
	3回目 14:30～

生活支援研究棟見学ツアー

定員

視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」の幼児
児童生徒への教育について、考えてみませんか。

(所要時間30分程度、各回定員15名)

*各開始時間の15分前から1階モニュメント前にて整理券配布予定

スケジュール	1回目 10:15～
	2回目 10:50～
	3回目 11:25～
	4回目 13:10～
	5回目 13:45～
	6回目 14:20～

筑波大学附属久里浜特別支援学校 「作業製品・食品 販売会」

同時
開催

11:40より入場可能

隣接する筑波大学附属久里浜特別支援学校において
「作業製品・食品 販売会」が開催されます。
詳しくは学校のホームページを
ご確認ください。



パン・焼き菓子販売

就労継続支援B型事業所が
運営するお店が出店します。



来場いただいた方には、お茶を1本プレゼント。(先着500名)*午前は仕事体験に参加の子ども達がお渡しします。
(協力:株式会社伊藤園)

催しは他にもたくさんあります。詳細はホームページでご案内します。

事前のお申込みはこちら

<https://e-ve.event-form.jp/event/86898/R6NISEopenday>



*事前にお申込みいただくと、入場受付がスムーズです。

【事前にお申込みいただいた方】ご登録のメールアドレス宛に届いたQRコードを受付でご呈示ください。

【当日のお申込みの方】受付にて申込書に必要事項をご記入いただき、ご提出ください。

*本研究所職員が撮影した映像及び写真は、資料や広報物等に掲載し公開する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 担当:広報係
TEL:046-839-6803(代表)



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

NISE National Institute of Special Needs Education

子どもとともに

一人一人の輝きを大切にする

特総研



- 計算や読解にうまく取り組めず困っている子どもに気づいたら…
- 集団での活動に入れずに困っている子どもに気づいたら…
- 提出物や持ち物を忘れがちで困っている子どもに気づいたら…

● 子どもの学びをサポートする教材・教具を知るには…

● もっと特別支援教育を理解したい…

● 他の学校は、困難さをかかえている子どもたちへの配慮や関わりをどのようにしているのか…

子ども一人一人の教育的ニーズに応じた実践事例があります。

特総研のWEBサイトで検索できます。

特別な教育的ニーズのある子どものための支援教材・支援機器の実践事例があります。

特総研のWEBサイトで検索できます。

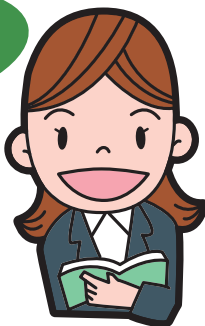
インターネットで講義を受講できます。

各学校の取組をデータベース化しています。

特総研のWEBサイトで検索できます。

詳しくは、裏面で！

新規発刊の
お知らせ



「特別支援教育の基礎・基本 2020」

2020年6月発刊
ISBN978-4-86371-548-6

新学習指導要領に完全対応！！
最新の特別支援教育の理論と、障害種別ごとに教育課程の編成、指導方法等を詳説。
特別支援教育の基礎・基本がこの1冊で分かります。



特総研のWEBサイトでは教育現場で役立つ「実践事例」を検索できます

実践事例



クリック

クリック



発達障害教育関連



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター

学校における指導・支援について、子どものつまずきを、「学習面」「行動面」「社会性」の側面からQ&A形式で紹介しています。発達障害の障害特性を踏まえて具体的な事例をもとに指導・支援方法を解説しています。



支援教材・支援機器関連



支援教材ポータル

特別支援教育教材ポータルサイト

特別支援教育の教材や支援機器、学校での実践事例をご紹介します。特性別、年齢別、障害別等の様々なニーズに応じた検索ができます。



インクルーシブ教育システム 構築支援データベース(インクルDB)

インクルーシブ教育システムに関する各学校の取組

実践事例データベースⅠ

実践事例データベースⅡ

文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組んだ、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を検索できます。また、遠隔授業や動画配信、新型コロナウイルス感染症予防の取組について掲載しています。

スキルアップしたいときも、

特総研のWEBサイトで特別支援教育に関する「講義の視聴」ができます。

NISE 講義配信は...

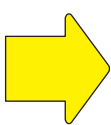
インターネットによる講義配信

NISE 学びラボ

～ 特別支援教育eラーニング ～

2020年4月1日リニューアル

いつでもどこでも
特別支援教育について
無料で学ぶことが
できます。



Check1



・多様な利用環境で、より視聴しやすくなりました！
パソコン、スマートフォン、タブレット端末から、ほとんどの利用環境で無料で視聴できます。より操作しやすく、視聴しやすい画面設定になりました。

Check2



・教職員等の主体的な学びを支援します！
120以上の講義コンテンツや、複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムから、ご自身のニーズに応じた学習ができます。また、受講状況や視聴履歴が確認できます。

Check3



・団体登録により研修プログラムが設定できます！
教育委員会等の機関が主催する研修等で、受講者のニーズにあわせて複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムが設定できます。修了者には視聴証明書を発行します。

特総研には、
子どもたちの可能性を
引き出すヒントがある

まずは、
特総研で検索

特総研

特総研LINE
公式アカウントを
はじめました！

ホーム → 友だち追加 → QRコード

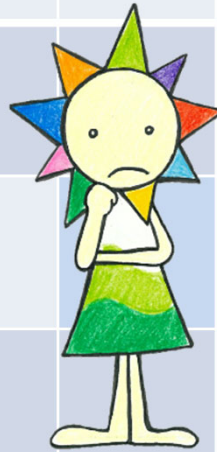
友達募集中

インクルDB

「合理的配慮」実践事例データベース

なかなか伝わらない・・・。

落ち着きがない・・・。



合理的配慮
とは？

研修の材料がほしい・・・。



困っているみたい・・・。

そんな時には、すぐ検索！

インクルDB



590事例
(2024年3月現在)

インクルDBについて

本サイトには、大きく3つのコンテンツがあります。

『[「合理的配慮」実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステムです。

『[相談コーナー](#)』では、都道府県・市区町村・学校からのインクルーシブ教育システム構築の相談を行っています。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



インクルDB
を活用した
研修例

研修会
での活用方法
も紹介してい
ます

「合理的配慮」実践事例データベース

実践事例データベース

<実践事例データ 計 590件>

『[事例を閲覧・活用される際の留意事項](#)』

『[インクルDBリーフレット\(カラー印刷\)](#)』

topic 『[令和4年度インクルDBセミナー](#)』(外部サイトYoutubeにリンクしています)

インクルDBを活用した研修例

インクルDBを活用した研修等を掲載しています。
ご参考にしてください。

関連情報

法令・通知・用語等

法令・施策や関連用語の解説など

Q&A

インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのQ&Aを設けました

研究報告・リンク

就学に関する情報、教材に関する情報など



「合理的配慮」実践事例データベースの使い方



事例のダウンロード画面

H25 0054PS1-VIIDS1

平成25年度インクルーシブ教育システム構築モデル事業
(モデル地域(交流及び共同学習)) 報告書
成果報告書(II)

A児は、B小学校の知的障害特別支援学級に在籍するダウン症候群の1年生である。B小学校には、知的障害特別支援学級のほか、自閉症・情緒障害、肢体不自由の特別支援学級が設置されている。
生徒指導主事を中心に児童の情報共有することで、全教職員の児童理解を深めている。また、特別支援校内委員会を定期的に開催し、特別な教育的ニーズのある児童への指導内容や方法について話し合ったり、専門相談員を招いたりして、効果的な支援の在り方について考える機会を設けている。A児が日頃、知的障害特別支援学級で行っている、日常生活の指導や個別指導の内容が、交流及び共同学習(生活、体育、音楽及び図画工作等の教科学習や行事への参加)で生かされるように、通常の学級と特別支援学級の各担任が情報交換を行い、合理的配慮を検討している。

ファイル名: H25 0054PS1-VIIDS1

1. 取組のキーワードについて

(1) 対象児童生徒等の障害種 (下のいずれかに●を付すこと。重複障害の場合は、併せ有する障害に全てに●を付すこと。)

●視覚障害、●聴覚障害、●知的障害、●肢体不自由、●病弱・身体虚弱、●言語障害、●自閉症、●情緒障害、●学習障害、●注意欠陥多動性障害

中略

(4) 【合理①-2-2】学習機会や体験の確保

交流及び共同学習の図画工作で、歯磨きする自分を描くという学習内容の際、絵の構図を示しながら、モデルとなる絵を黒板に描き、A児がそれをまねることで、作品を完成することができた。また、絵の具を使った模様作りで、担任が絵の具を塗る様子に実際にみせることで、自分が描きたい色を選び、模様の塗り方を決めることができた。

運動会のリズム練習では、A児の近くで交流学級の担任が演じ、A児は、その動きを上手にまねて踊った。

体育のマット運動や跳び箱では、小グループでの活動を多く取り入れ、何度も練習できるようにしている。縄跳びでは、他の児童から誘われたり、誘ったりしながら、一緒に跳ぶことができるようになった。

C市内の特別支援学級の合同合宿では、A児にとって余裕のある活動日程としたことで、初めての体験にもかかわらず、往復3km以上の道のりをグループのメンバーと歩くことができた。また、カレー作りでは、事前に生活単元学習で練習していたので、皮むき器や包丁を上手に使うことができた。入浴や洗面等も自分で率先して行おうとした。



写真2 絵の具の塗り方の実践

検索はキーワードを入力してください。

【I】 対象児童生徒等の障害種

and or

視覚障害 [19]

聴覚障害 [42]

知的障害 [142]

肢体不自由 [56]

病弱・身体虚弱 [26]

言語障害 [31]

自閉症 [173]

情緒障害 [45]

学習障害 [92]

注意欠陥多動性障害 [97]

全て選択/全て解除

【II】 対象児童生徒等の障害の程度 (学校教育法施行令第22条の3)

該当 [159]

非該当 [75]

【III】 対象児童生徒等の在籍状況等

幼稚園 [23]

小学校 (通常の学級) [63]

小学校 (通常の学級・通級による指導) [78]

小学校 (特別支援学級) [119]

中学校 (通常の学級) [57]

中学校 (通常の学級・通級による指導) [41]

中学校 (特別支援学級) [28]

高等学校 [42]

中等教育学校 [0]

特別支援学校 (幼稚園) [1]

特別支援学校 (小学校) [35]

特別支援学校 (中学校) [15]

特別支援学校 (高等学校) [10]

【IV】 対象児童生徒等の学年

年少 [5]

年中 [41]

年長 [15]

小1 [40]

小2 [59]

小3 [60]

小4 [53]

小5 [37]

小6 [46]

中1 [49]

中2 [46]

中3 [46]

高1 [15]

高2 [19]

高3 [18]

【V】 基礎的現環境の観点

基礎① ネットワークの形成・連携性のある多様な学びの場の活用

基礎② 専門性のある指導体制の確保

基礎③ 個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導

基礎④ 教材の確保

基礎⑤ 施設・設備の整備

基礎⑥ 専門性のある教員、支援員等の人的配置

基礎⑦ 個に応じた指導や学びの場の設定等による特別な指導

基礎⑧ 交流及び共同学習の推進

全て選択/全て解除

【VI】 合理的配慮の観点

合理①-1-1 学習又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

合理①-1-2 学習内容の変更・調整

合理①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮

合理①-2-2 学習機会や体験の確保

合理①-2-3 心理面・健康面の配慮

合理②-1 専門性のある指導体制の整備

合理②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮

合理②-3 災害時等の支援体制の整備

合理③-1 校内環境のバリアフリー化

合理③-2 発達、障害の状況及び特性等に合わせた指導ができる施設・設備の配慮

合理③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

全て選択/全て解除

1 条件を
チェック!

2 検索!

3 気になる事例を
ダウンロード!

ファイル

[H25_0054PS1-VIIDS1.pdf](#) [ダウンロード](#) ダウンロード数: 341

【I】 対象児童生徒等の障害種

視覚障害, 知的障害, 言語障害

【III】 対象児童生徒等の在籍状況等

合理的配慮の情報が満載! 検討する際の参考に!

合理的配慮が
具体的に紹介され
ているよ!



事例をダウンロードして
使えるよ!

研修方法も詳しくわかるよ!

※合理的配慮
障害のある子供が、他の子供と平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者や学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことです。学校教育を受ける場合に個別に必要なとされるものです。

先生の
困った!

を**解決**するために



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education

特総研HPで
公開中！

子ども一人一人の教育的ニーズに応じた実践事例があります。

リーフレットも
あります

研究成果をイラスト入りなどで、わかりやすく、ポイントを紹介しています。研修会などで配っていただくなどの活用ができます。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
NISE 令和元年度自閉症班基礎的研究活動

自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！

失敗すると激しく落ち込むカノンちゃん

カノンちゃん、次は体育だよ。着替えて、交流学級に行きなさい。

カノンちゃん、特別支援学級のとも子先生

今日は、行かないの？ ゆうい先生がお迎えにきているよ。

いやだ、行きたくない。

何かあったのかな...

行きたいけど、この冊とび箱、失散したんだよね。

おなが痛い...

カノンちゃん、行こうよ！ みんなが待っているよ。

ああ... 本当におなが痛くなってきた...

また、おなが痛いの？ じゃ、保健室に行っておいで。

自分の伝えたいことを衝動的な行動で表すだいつくん

今日は、前回の授業の続きをしますよ。みんな、何をしていたか、覚えてるかな？

あ！前の授業であの教材を作ったなあ...

だいつくん、だいつくん、危ないから降りて！

前回作った教材、これ、これ、この教材だ...

もう！何するの！やめてー！

ぼくは、この教材がほしいんだよ！

ヤダ！ヤダ！教材

何が、やだなの？ だいつくん、やめなさい！！

また席から離れて。本当に困ったわ。

だいつくん、早く席に戻りなさい。授業中よ！

ぼく、がんばってるのに注意ばかりで、もう嫌だ！！

カノンちゃんとだいつくんの先生は、困っている様子ですね。でも、困っているのは、先生だけでしょうか？
2人の先生と一緒に、なぜ、このような状況になったのかを振り返ってみましょう。

ナイセ博士

- 1 -

ガイドブック・事例集も
あります

主に、教育現場に携わる先生方へむけての手引書で、わかりやすく内容がまとめられています。

特総研 B-322

高等学校教員のための
「通級による指導」ガイドブック

おさえておきたい8つの課題と
課題解決のための10のポイント

平成30年3月

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

1. 通級による指導とは

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、大部分の授業を講義に前記した特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受けることにおいては、平成5年度から制度化され、指導を受けている児童生徒が、障害者権利条約にもつづき、インクルーシブ教育です。インクルーシブ教育システムとは、人間の多様な障害がその能力等を最大限に発揮させ、社会に効果的に参加することのある者となき者が共に学ぶ仕組みです。

そのためには、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、児童生徒の多様な教育的ニーズに対応できる学びの場を構築する一人一人の十分な学びを確保していくことが必要です。

高等学校では、障害のある児童に対する指導や支援は、通級学校設置科目・教科等により実施されており、特別の教育課程（小・中学校における通級による指導を受けている児童生徒）教育システムとの連携の必要性を踏まえ、高等学校における導入の必要性が指摘され、制度化に至りました。

2. 特別の教育課程の編成

学校教育法第81条第1項においては、幼稚園、小学校、中学校及び中等教育学校において障害のある児童生徒が在籍の上で行うことと定めています。このことは、全ての学校においてこれを示しています。

通級による指導は、学校教育法施行規則第140条及び第141条による指導は、特別の指導を教育課程に追加したり、又は別の教育課程を編成することができます。

● 加える場合の例（授業時数が増加する）		● 替える場合の例（授業時数が増加しない）	
必修科目に追加する （1単位）	必修科目 （1単位）	必修科目に追加する （1単位）	必修科目に追加する （1単位）
必修科目に追加する （1単位）	必修科目 （1単位）	必修科目に追加する （1単位）	必修科目に追加する （1単位）
必修科目に追加する （1単位）	必修科目 （1単位）	必修科目に追加する （1単位）	必修科目に追加する （1単位）

※授業に追加した特別の指導、特別の場

図1 加える場合、替える場合の例

リーフレットを見たい時 ▼

まずは、<https://www.nise.go.jp/nc/> へアクセス！

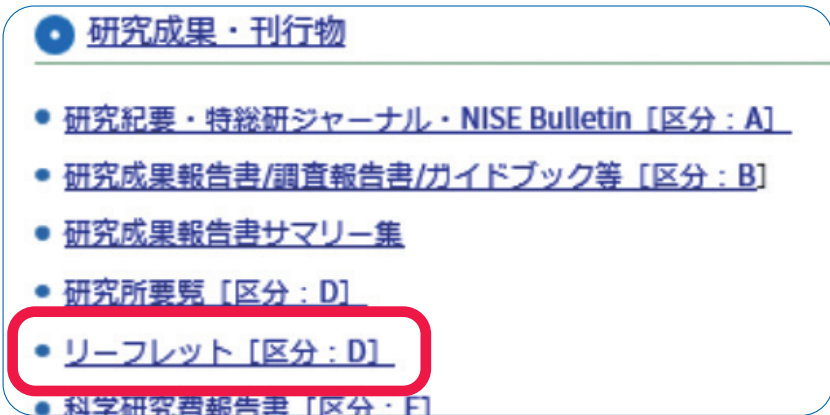
1

画面右上メニューの「報告書・資料」をクリック



2

「リーフレット」をクリック



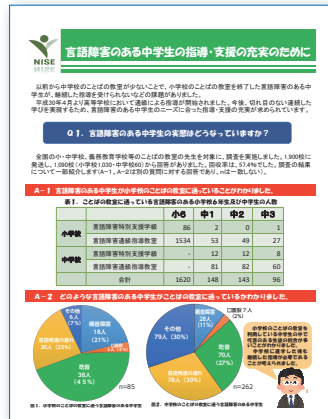
3

リーフレットの紹介ページの中から目的のPDFファイルをダウンロードしてください。

区分	表紙	刊行物名	発行
D-375		言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために [5M pdfファイル]	令和2年5月

4

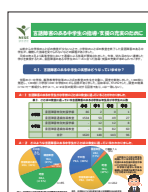
ご自宅のPCに保管して授業の参考にしたり、印刷して研修会や保護者会の資料に用いたり、ぜひご活用ください。



研究成果物リスト

こちらで紹介しているのはほんの一部です。HP で最新の情報をぜひご覧下さい。

研究成果報告書	研究成果報告書サマリー集（令和4年度終了課題）令和5年7月
リーフレット	視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究 －特別支援学校（視覚障害）における指導を中心に－ 平成31年3月 http://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/461abb9ee6ba1a2b30ec92c91cdd3f6b?frame_id=1235
	「インクル COMPASS」ガイド 令和3年2月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0268a82e3496739df67d904da372318f?frame_id=1235
	知的障害特別支援学級の授業づくり『すけっと』がお助けします！ 令和3年7月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/3874245f4dc3c95f0d2581fff2b89089?frame_id=1235
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/5e05240dd26f61653fb0fa1795b385ce?frame_id=1235
	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究 － Co-MaMe(連続性のある多相的多階層支援)－ 令和2年1月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e8ec1140df63665bb0e2bceea764638a?frame_id=1235
	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために 令和2年5月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b63291da546834b573084bb47ce544dc?frame_id=1235
	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！ 令和2年5月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/a89cfe3fd46491ddf8b4e03e10562022?frame_id=1235
	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ・・・二次的な障害を生んでいるかも・・・？ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/08f50f2da9864d68fd321cb3595a1aaa?frame_id=1235
事例集 ガイドブック	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/hearing/package
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために －教職員、保護者、関係するみなさまへ 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/9353ab9431f5f2e41a616f6cd3dc3fc1?frame_id=1235
調査報告書	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書 令和3年3月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0a3a3ace55c2950cfff05b6e4f44148?frame_id=1235
WEB 情報 サイト	N I S E 学びラボ：インターネットによる講義配信 https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online
	インクルDB：インクルーシブ教育システム構築支援実践事例データベース http://inclusive.nise.go.jp/
	特別支援教育教材ポータルサイト：支援機器等教材に関する活用方法や取組事例 http://kyozai.nise.go.jp/
	N I S E チャンネル：YouTube にて活動紹介動画、研修講義動画を配信中 https://www.youtube.com/user/NISEchannel
	N I S E 研究者紹介ページ：特総研 Web ページにて在籍する研究者の専門分野等を紹介 https://www.nise.go.jp/nc/study/researcher_list



令和6年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー (一次案内)

共生社会の形成に向けた特別支援教育の展開



(令和5年度研究所セミナー)

募集定員 会場:500名

YouTubeライブ配信は
定員無し(要申込)

※ 参加申込受付は
令和7年1月開始予定

- ◇ 期 日 令和7年3月8日(土)
- ◇ 時 間 9時30分～16時15分 ※会場受付9:00開始
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- ◇ 主な内容
午前の部 開会式、文部科学省行政説明、講演、
研究所の研究について
午後の部 障害種別班等ポスター発表、重点課題研究等分科会
- ◇ 定 員 会場500名、YouTubeライブ定員無し(要申込)
- ◇ 実施方法 会場・一部YouTubeライブ配信併用方式
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
<https://www.nise.go.jp/nc/>
- ◇ 協 力 株式会社伊藤園
公益財団法人みずほ教育福祉財団 (五十音順)